

東日本大震災への義援金が被災者に渡っているかを市が率先して市民に報告すべき

浅野質問：市の集めた義援金の総額は？ 被災者に渡っているのかを市民に報告すべきです？

保健福祉部長答弁：

・平成24年5月末で8,728万3,643円。全額、日赤埼玉県支部に渡した。義援金額については市のHPや広報で報告している。又、配分割合決定委員会で配分が決まり全被災者に渡っている。

浅野質問：

・日赤のHPを開くと、全被害者に配分された事は書いてあるが、それを知る市民は少ない。義援金の総額だけではなく、市が率先して市民に全被災者に配分されている事も、知らせるべきだ。それが市民に対する当たり前の市役所だ。「超親切になる前に当たり前の事をして欲しい」と、最後に発言しました。

なお、決定された配分金額は、第1配分として

・「死亡・行方不明者：1人当り35万円」 ・「住宅全壊（全焼）：1戸当り35万円」

・「住宅半壊（半焼）：1戸当り18万円」 ・「原発避難指示等：1世帯当り 35万円」

第2次配分として、震災孤児・遺児等の全被災者支援に配分する（教育基金を造ったとの事）

所沢駅西口ゴミ箱・これで良いのか？ 吾妻自治連会長が市と話し合い中・・・



請願の説明

議員の気持ちは分かるが、財政的に組み替えながら何とか行っている。今後、まちづくりセンターを中心に地域協議会が発足すると思うので、その際には報償金を検討したい。

藤本市長答弁

活動を応援すべきだと思うが。

自治会・町内会活動を応援して！
浅野質問
地域住民の交流作りや安全パトロール等をしている自治会・町内会活動が活発化している。近年、行政からの依頼や回覧板が増加して支出も増えているのに、市の奨励金や補助金が減額されているので厳しい。又、住民が協力している集団資源回収の奨励金も、この4年間で1Kにつき2円も下がった。社会福祉協議会への寄付金も町内会費から出している。もっと、市は活動を応援すべきだと思うが。

狭山ヶ丘中学校に冷房整備を願う件

狭山ヶ丘中学校 PTA や地域住民が16,005名の署名を添えて議会に。市は、平成18年度に「入間基地近隣の防音校舎の整備方針を決め、宮前小、狭山ヶ丘中、北中小の3校にエアコン設置（総事業費：3億1,200万円で国の補助金が60%弱有）が進んでいた。既に宮前小には設置済み。24～25年度で狭山ヶ丘中に設置工事予定だった。が、藤本市長が「東日本大震災、原子力発電所の事故後、価値観を変えるべき。今までも、暑い時は窓を開けて授業をしてきた。国・県・市も財政は厳しい。教育は市の重要課題なので、国の補助金と市の借金を断ち「人」に充てた」と、この事業を停止。議会は賛成多数で請願を採択。議会では「エアコン設置を求める決議」も可決されている。私は、行政の継続性を考えて「請願と決議」に賛成。

東日本大震災の「がれき処理」 所沢市も受け入れる事を願う件

市民環境常任委員会で審議されて採択にはなりませんでした。採択を出来ない理由は「市には最終処分所がなく米沢市の埋め立て地をお願いしている。市にがれきをトラックで運搬し、焼却灰を米沢に運搬するより、被災地で焼却して米沢に運搬した方が自然」との事です。現在、埼玉県に依頼したががれきの処理量が国の方針で縮小されたので、埼玉県が市町村自治体に依頼しなくても民間工場で全量を処理できると県が発表しました。